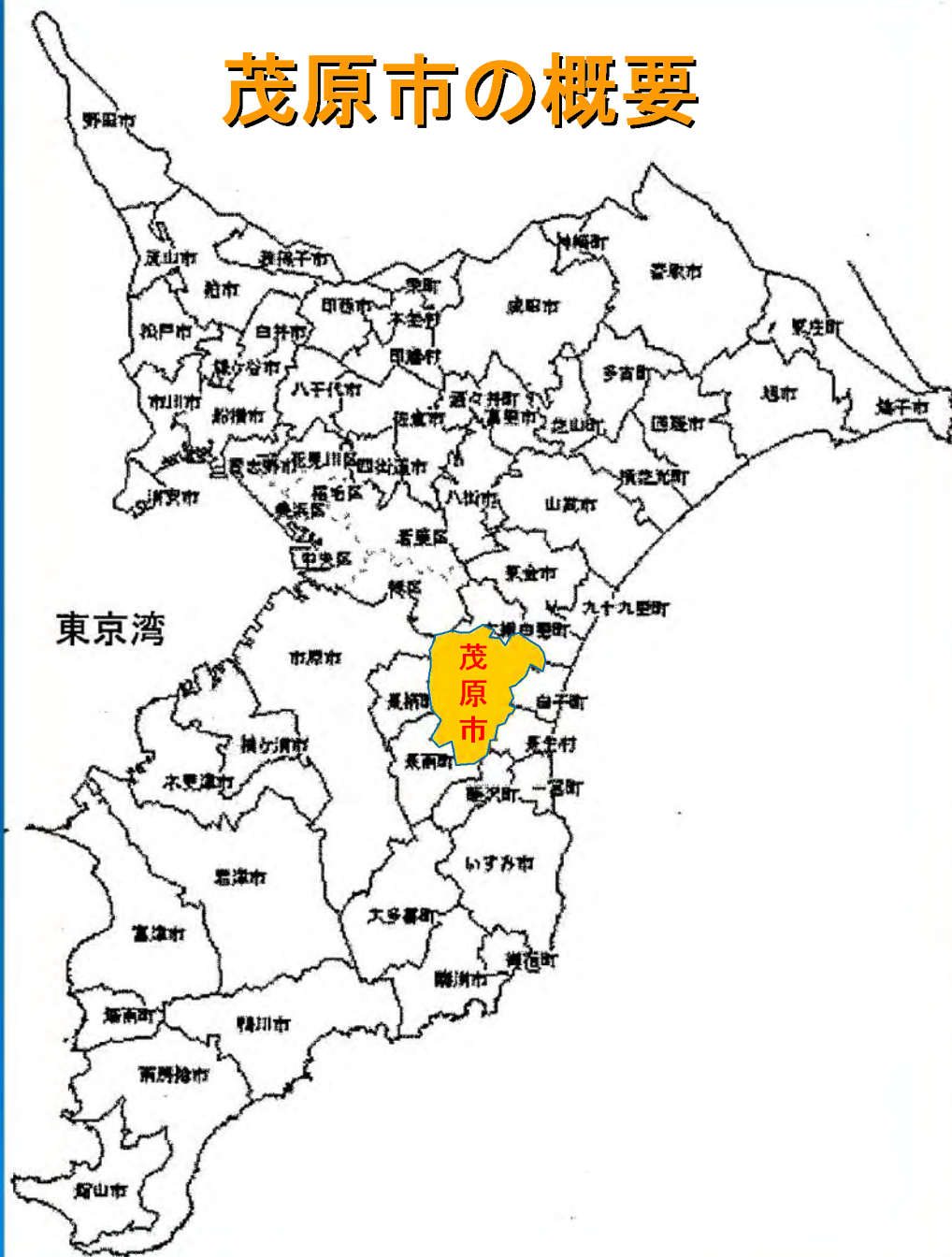


# 茂原市公共下水道事業 事業再々評価

平成 20 年 7 月

茂原市下水道課

## 茂原市の概要



- 茂原市は、千葉県のほぼ中央部に位置、千葉市から約30kmの距離

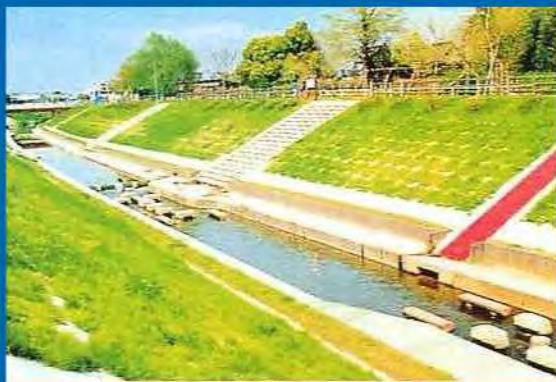
- 豊富な地下資源である天然ガス・ヨードや広大な工場適地等を背景に、県内屈指最先端分野を担う工場集積

- 首都圏中央連絡自動車道の整備により、国内外の交流・物流ネットワークの拠点として期待



# 事業の必要性（汚水）

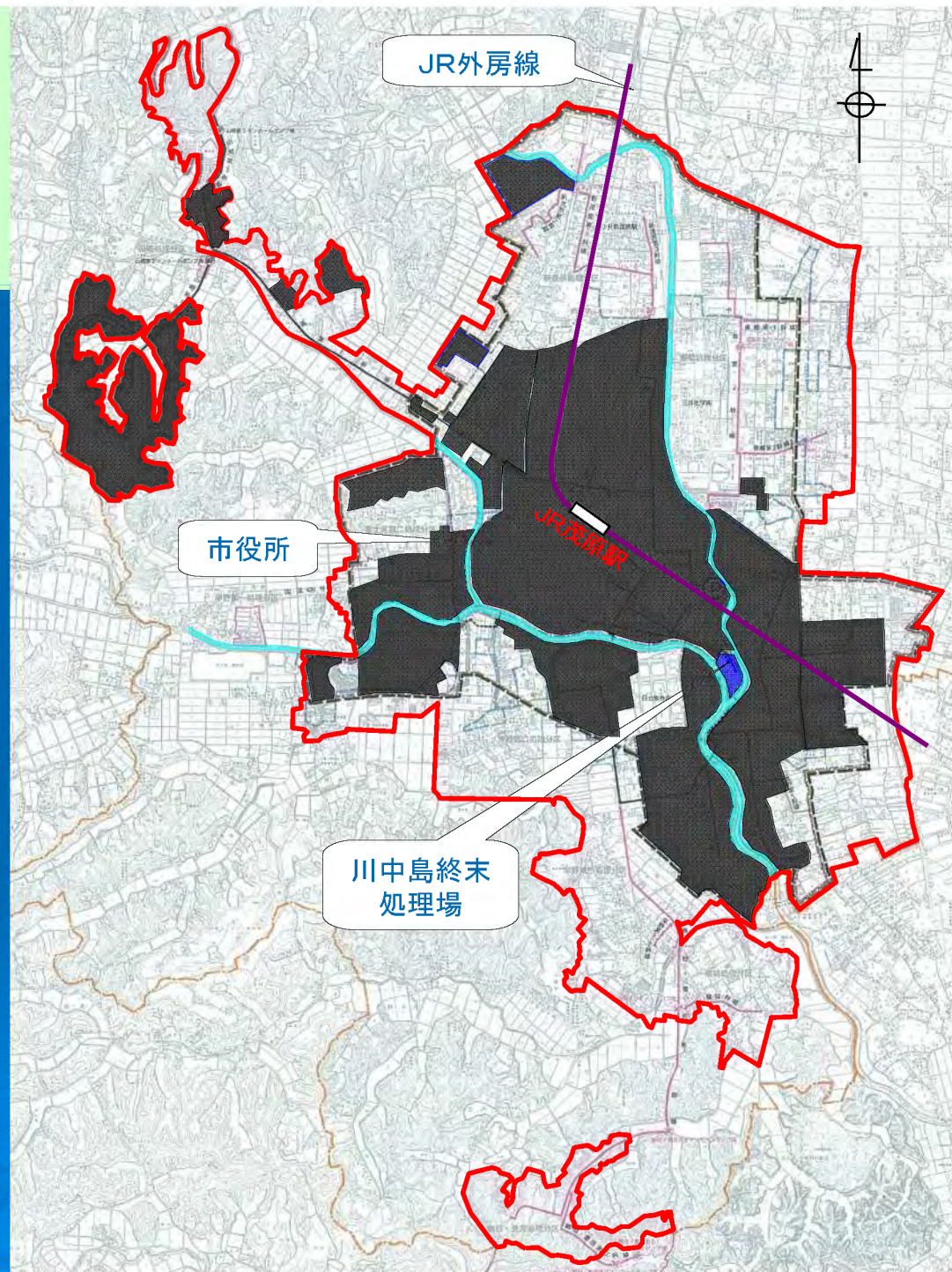
- 生活環境の改善
- 公共用水域の水質保全





# 下水道事業の概要 (汚水)

凡 例	
	再々評価対象区域
	整備済み区域



# 指標1 費用効果分析

総便益 ( B )	1,727 億円
総費用 ( C )	1,061 億円
費用便益比 ( B / C )	1.6

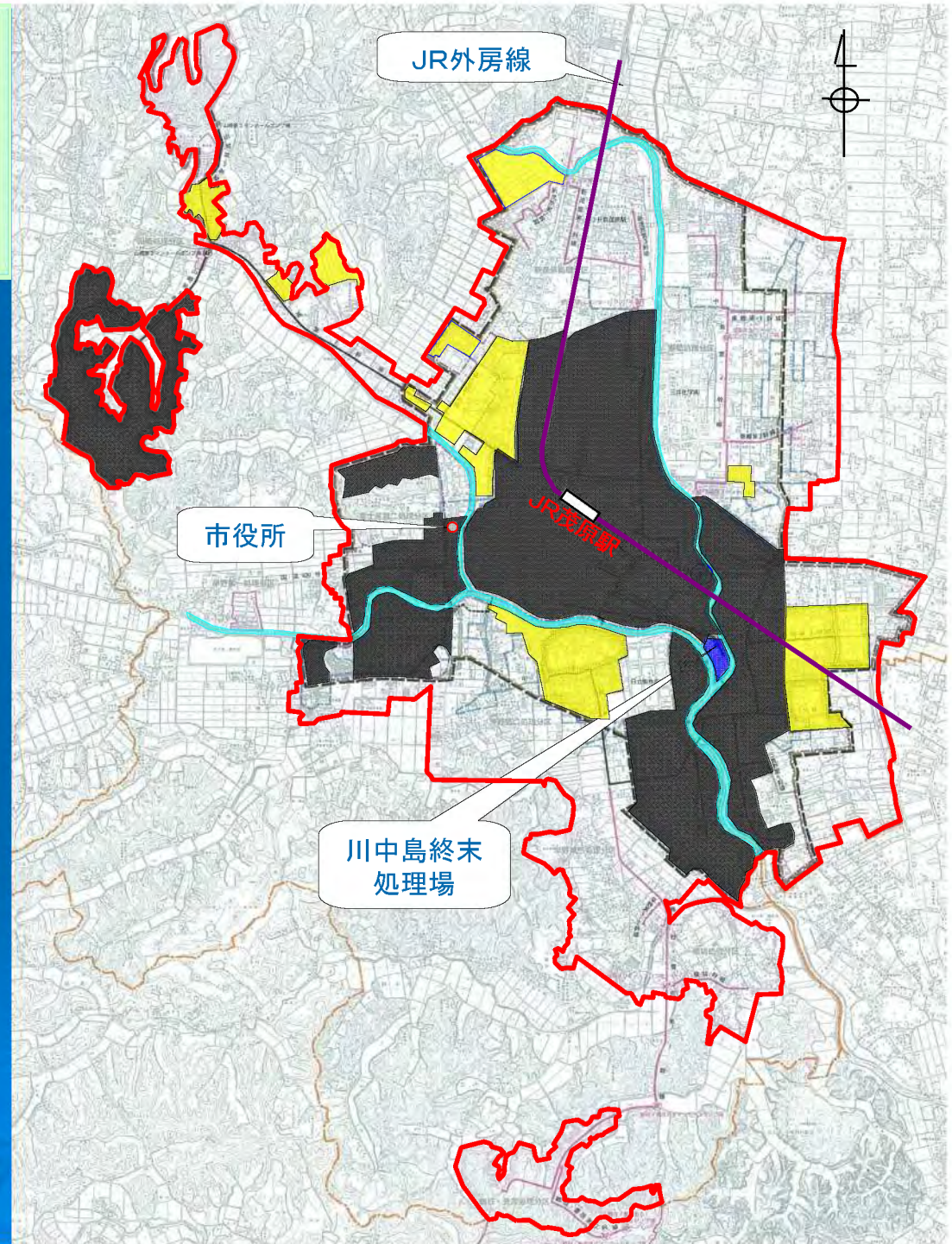
## 指標2 事業の進捗状況

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は、事業計画952haに対して、899haを整備し、整備率は94%である。
処理場用地の取得状況	全用地を取得済である。
処理施設の供用状況	事業計画処理能力26,410m <sup>3</sup> /日に対して、15,410m <sup>3</sup> /日を整備し、整備率は58%である。
供用開始区域の接続状況	接続率92%である。
地元情勢等	市議会及び地元住民の理解・協力は得られている。



# 指標2 事業の進捗状況

凡 例	
	再々評価対象区域
	S41～H10整備
	H11～H20整備



## 指標3 社会経済情勢等

指 標	状 況
社会経済情勢	圏央道の整備に伴い、宅地開発計画があるものの、既に下水道計画に見込んでいるため、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にはない。
自然環境条件	河川の水質汚濁に係わる水質環境基準に変更はない。
計画変更の有無及びその内容	全体計画及び事業計画について、必要に応じて適切に見直している。



## 指標4 コスト縮減・代替案

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	当市の市街化の状況から、代替としての浄化槽より下水道整備が適していると判断できる。

## 対応方針（案）

茂原市公共下水道事業（汚水）は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。



# 事業の必要性（雨水）



- 浸水による被害から  
住民の安全と財産を  
守る

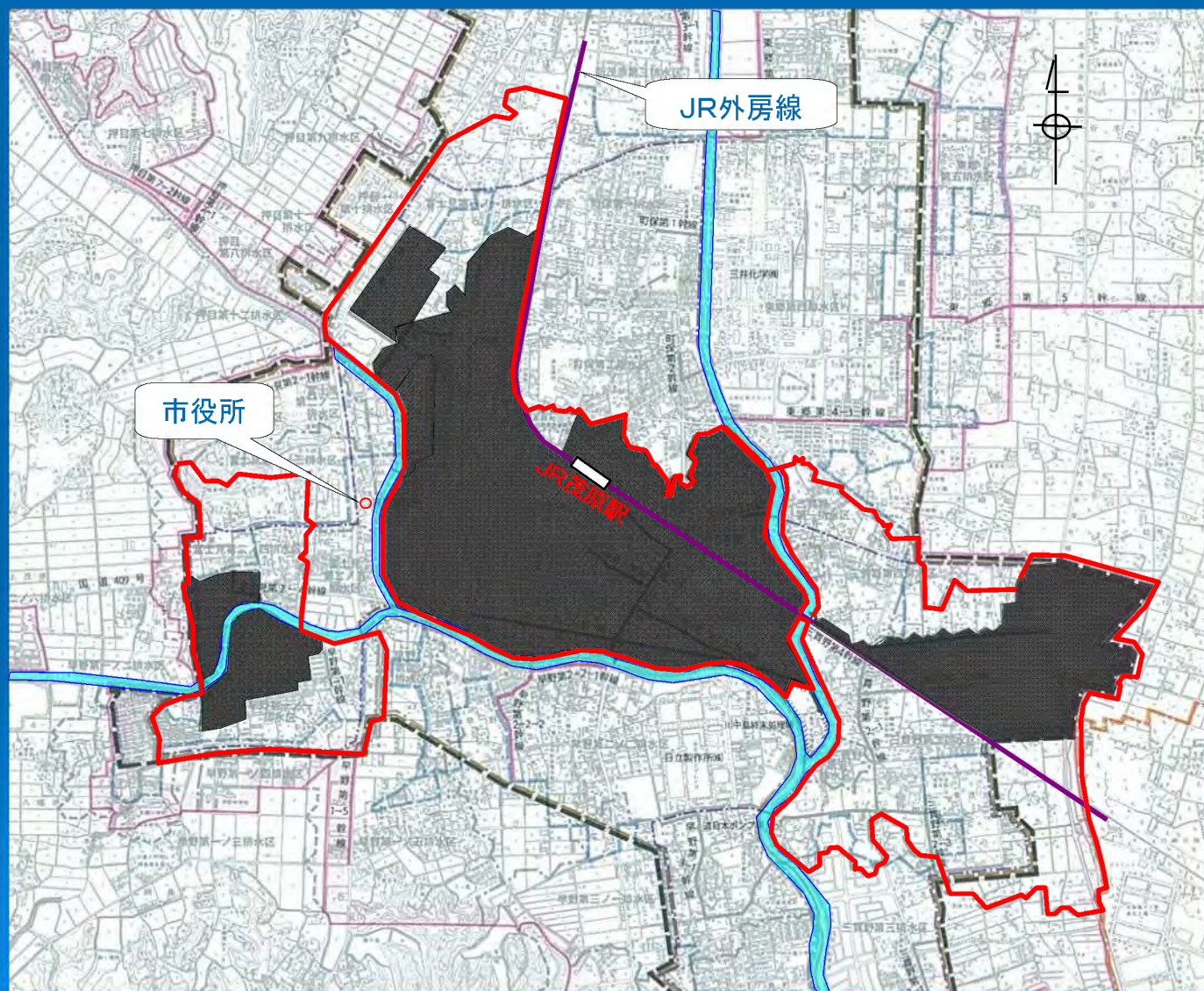


平成17年6月  
集中豪雨  
早野地区



# 事業の概要 (雨水)

凡 例	
	再々評価対象区域
	整備済み区域





## 指標1 費用効果分析

総 便 益 ( B )	496 億円
総 費 用 ( C )	260 億円
費用便益比 ( B / C )	1.4 ~ 2.1

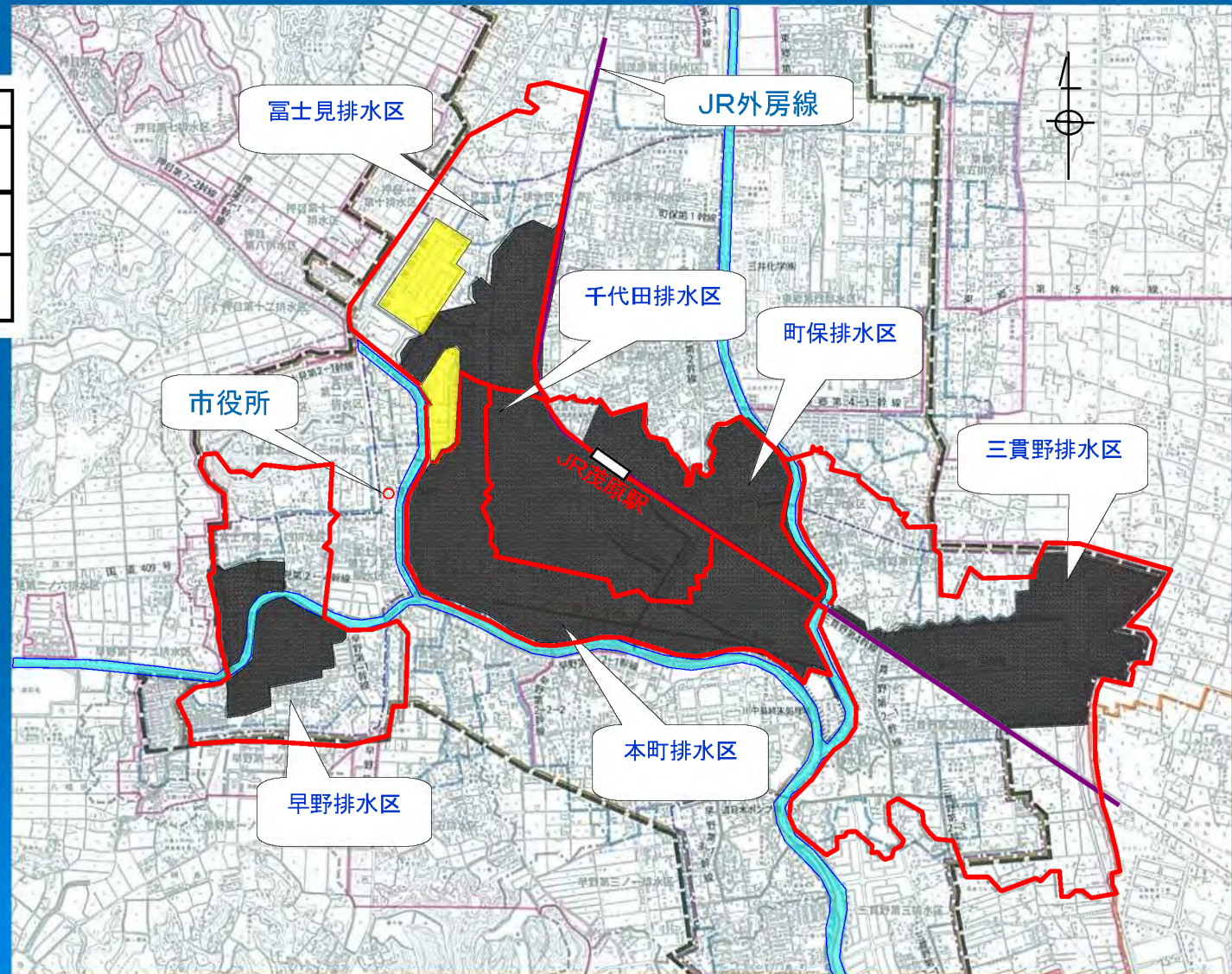
## 指標2 事業の進捗状況

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は、事業計画442haに対して、300haを整備し、整備率は68%である。
地元情勢等	市議会及び地元住民の理解・協力は得られている。



# 指標2 事業の進捗状況

凡 例	
	再々評価対象区域
	S41～H10整備
	H11～H20整備



## 指標3 社会経済情勢等

指 標	状 況
社会経済情勢	既成市街地で、今後大きな開発計画がないことから、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特 にない。
計画変更の有無及び その程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じて 適切に見直している。

## 指標4 コスト縮減

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用により コスト縮減に努めている。



## 対応方針 (案)

茂原市公共下水道事業(雨水)については今後も整備が必要であることから、当事業を継続していく方針です。